

# 入院時のシックデイ対応マニュアル

糖尿病の患者さんが、シックデイの状態入院した場合に使用する

以下の場合にはこのマニュアルは用いず、糖尿病担当医・専門医に連絡すること  
高血糖昏睡(DKA、HHS)、初診で尿ケトン体(+)以上、初診の劇症1型糖尿病の疑い

(参考)劇症1型糖尿病の新スクリーニング基準(下記の基準を満たす症例は入院の上精査が必要)

- 1.糖尿病症状発現後1週間前後以内でケトosisあるいはケトアシドーシスに陥る。
- 2.初診時の(随時)血糖値が288mg/dl以上である。

## 基本指示

入院時の血糖値 $\geq$ 200mg/dlの場合、 または糖尿病の薬物療法を受けている場合	→	血糖3検を指示し、インスリンによる スライディングスケールを開始する。
入院時の血糖値 $<$ 200mg/dlで、 薬物療法を受けていない場合	→	1日3回の血糖値のモニターを開始する。
低血糖の場合	→	低血糖マニュアルに沿って対処する

## スライディングスケールの決め方

インスリンの使い方 (Q:超速効型 R:速効型 N:中間型 SS:スライディングスケール)

食事・運動療法のみの場合 HbA1cが不明な場合・まったく無治療の場合	→	RまたはQでSS-1を開始
内服治療中の場合	→	内服薬を中止し、RまたはQでSS-2を開始
GLP-1製剤(ビクトーザ・バイエッタ)の場合	→	GLP-1製剤を中止し、RまたはQでSS-2を開始
<b>インスリン治療中の場合</b> (糖尿病の内服薬を併用している場合は、内服薬は原則中止とする)		
1日4回 以上 注射	ランタス、レベミル、Nを使用し、 他のインスリンを各食前に使用 している場合	→ ランタス、レベミル、Nは継続し、各食前で使用してい るインスリンでSS-2を開始
	その他の場合	→ 現在のインスリンを中止し、RまたはQでSS-2を開始
1日3回 注射	各食前で注射している場合	→ 現在のインスリンで、SS-2を開始
	その他の場合	→ 現在のインスリンを中止し、RまたはQでSS-2を開始
1日2回以下の注射		→ 現在のインスリンを中止し、RまたはQでSS-2を開始

## 標準スライディングスケール(参考)

※各施設に決められたスライディングスケールがある場合は、そのスケールに変更可

### 注意

漫然とスライディングスケールを続けても、決して血糖値は安定しないので、食事摂取が安定した場合は、インスリン量を固定する、内服治療に切り替えるなど、適切な方針を考えること

簡易血糖測定器による 血糖値(mg/dl)	SS-1	SS-2
150~199	0	2
200~249	2	4
250~299	4	6
300~	6	8